



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年8月3日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社  
 コード番号 2501 URL <http://www.sapporoholdings.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾賀 真城  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 梅里 俊彦

TEL 03-5423-7407

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	259,795	4.4	3,018	△1.0	2,654	1.3	222	△52.3
28年12月期第2四半期	248,959	1.3	3,048	—	2,620	—	465	△60.0

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,116百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △9,728百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	2.85	—
28年12月期第2四半期	5.98	—

※平成28年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	606,035	165,585	26.5
28年12月期	626,351	166,380	25.7

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 160,316百万円 28年12月期 160,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	37.00	37.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	563,800	4.1	21,300	5.1	20,300	5.7	10,700	13.0	137.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	78,794,298 株	28年12月期	78,794,298 株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	900,470 株	28年12月期	898,911 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	77,894,480 株	28年12月期2Q	77,903,021 株

※平成28年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、28年12月期2Q期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)	12
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象に関する注記)	15

○第 2 四半期決算短信補足説明資料

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）の日本経済は、輸出の回復や雇用所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いています。一方で、物価の基調は依然として弱含みで推移している他、海外経済においては、米国の政治に対する不安や北朝鮮を巡る地政学リスクも高まってきており、先行きの不透明感は解消されていません。

このような経済環境のもと、当社グループの売上高は、国内酒類事業でビールや多層化商品の売上数量が前年同期を上回り、また、国際事業で北米における酒類の売上数量が伸長したことなどから、増収となりました。

営業損益は、各事業セグメントの売上高増加による影響の一方で、物流費の高騰や、積極的なブランド投資により固定費が増加し、前年同期並みの水準となりました。

その結果、連結売上高2,597億円（前年同期比108億円、4%増）、営業利益30億円（前年同期比0億円、1%減）、経常利益26億円（前年同期比0億円、1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億円（前年同期比2億円、52%減）となりました。

#### [季節性要因による影響について]

当社グループの業績は、国内酒類、国際、食品・飲料、外食の各事業の需要に大きな季節変動があります。このため、当第2四半期連結累計期間に含まれる第1四半期連結会計期間においては、売上高が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

#### [国内酒類事業]

国内におけるビール類総需要は、前年同期比で99%と推定されます。

このような中で、国内酒類事業は、経営ビジョン「オンリーワンを積み重ね、No. 1へ」を継続し、当社グループならではの価値の提供を積み重ねるとともに、「ビール復権宣言」を事業方針に掲げ、ビールに積極的な投資をすることで、さらなる成長を目指しています。

ビールでは、好調な売上を維持し続けている「サッポロ生ビール黒ラベル」の缶製品が牽引しました。また、「エビス」ブランドも、3月発売の「エビス 華みやび」が引き続き好評をいただいていることもあり、売上が伸長し、ビール合計の売上数量は前年同期比で105%となりました。発泡酒「極ZERO（ゴクゼロ）」や、新ジャンル「麦とホップ」ブランドの売上が前年同期を下回りましたが、ビール類合計の売上数量は、総需要並みの前年同期比99%となりました。

RTD（※1）では、高付加価値のコラボ新商品である西日本限定「愛のスコールホワイトソー」が好評を博しており、「男梅ソー」 「キレートレモンソー」などの主軸商品も順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ワインでは、輸入ワインの「ペンフォールズ」、シャンパーニュ「テタンジェ」や、日本ワイン「グランポレー」などのファインワイン（※2）の販売強化を図り、売上高は前年同期を上回りました。

洋酒では、「バカルディ」「デュワーズ」等の主力ブランドが好調に推移したことで、売上高は前年同期を上回りました。

和酒では、甲乙混和芋焼酎売上No. 1（※3）の「こくいも」が引き続き好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、国内酒類事業の売上高は1,275億円（前年同期比17億円、1%増）となり、営業利益は14億円（前年同期比0億円、1%減）となりました。

※1 RTD：Ready To Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料

※2 ファインワイン：中高級価格（1本1,500円以上）ワイン

※3 インタージSRI甲乙混和芋焼酎市場2015年1月～2016年12月累計販売金額全国SM/CVS/酒DSの合計

#### [国際事業]

北米におけるビール市場の総需要は、アメリカ、カナダともに前年同期を下回ったと推定されます。アジア経済は、依然底堅いものの成長率が鈍化し、各国・地域ごとの景気動向にばらつきが見られました。

このような中で、国際事業は、北米及び東南アジアにおけるプレミアムビール市場を中心にブランド力の強化に取り組み、アメリカでは果汁飲料の販路拡大を行いました。

北米では、カナダにおいて、「スリーマン社」が主力のプレミアムブランドへのマーケティング投資を継続した結果、「スリーマン社」のビール売上数量（「サッポロ」ブランドを除く）は前年同期比101%となりました。アメリカのビール市場では、「サッポロUSA社」がアメリカ一般市場やアジア系市場への展開を進めた結果、同社の「サッポロ」ブランドのビール売上数量は前年同期比110%となりました。アメリカの飲料市場においては、「カ

ントリー ピュア フーズ社」の業務用飲料や果汁シャーベットが好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

東南アジアでは、ベトナムにおいて、1月からの酒税増税に加え、販促方法の変更により取扱店が減少した結果、ビール売上数量は前年同期を下回りました。シンガポールでは、家庭用及び業務用市場への販路拡大に継続して取り組みました。

その他のエリアでは、韓国において、家庭用及び業務用市場で「Sapporo Premium Beer」の取扱店が増加した結果、ビール売上数量が前年同期を上回りました。オセアニアでは、現地でのライセンス生産を核として同市場での販売強化に取り組んでおり、ビール売上数量は前年同期を上回りました。

これらの取り組みを通じて、国際事業全体の「サッポロ」ブランドのビール売上数量は前年同期比108%となりました。

以上の結果、国際事業の売上高は、337億円（前年同期比20億円、7%増）となり、営業利益は1億円（前年同期は3億円の損失）となりました。

### 〔食品・飲料事業〕

国内における飲料の総需要は、前期比101%と推定されます。

このような中で、食品・飲料事業は、「食感系」・「素材系」・「がぶ飲み」ブランドのラインナップ強化を図り、当社グループ独自の価値提案を行っています。

国内飲料では、レモンの研究成果を活用した機能性表示食品「レモンの元気」、国産六条大麦を100%使用した「にっぽん麦茶」など、強みをいかした新商品を発売しました。また、飲料の最需要期に向けて、「丸永製菓社」と共同開発した「がぶ飲み 白くまトロピカルフルーツソーダ」を発売しました。

国内食品では、冷製缶スープやカップ入りスープを中心にスープ事業が好調に推移し、スープ食品合計で前年同期比108%となりました。レモン食品においては、基幹商品の「ポッカレモン100」の売上が堅調に推移し、売上高は前年同期比105%となりました。また、広島県や同県の大崎上島町に続き、呉市と呉産レモンの振興及び地域の活性化を目的に、パートナーシップ協定を締結しました。その他、豆乳飲料・豆乳ヨーグルトにおいては、今年で発売20周年を迎える特定保健用食品「ソヤファーム 豆乳で作ったヨーグルト」シリーズを10年ぶりに刷新し、ブランド強化を図りました。

国内外食では、カフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」を展開する「ポッカクリエイト社」が、季節やトレンドに合わせた新メニューの発売等を行った結果、直営店の売上が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

海外飲料では、緑茶で約70%のシェアを占め、お茶カテゴリーでNo. 1のシェア（※）を有するシンガポールでのポジションを維持しながら、マレーシアなど、他エリアへの輸出拡大を図りました。また、インドネシアの「ポッカ ディーマ インターナショナル社」において、現地の飲料水生産設備が4月より本格稼働し、主力となるPETボトル商品「450mlジャスマングリーンティ」「350mlレモンブラクティ」等の生産出荷を開始しました。

以上の結果、食品・飲料事業の売上高は654億円（前期比5億円、1%増）となり、営業損失は11億円（前年同期は8億円の損失）となりました。

※Nielsen Singapore MarketTrack May 2017(Copyright c 2017, The Nielsen Company)

### 〔外食事業〕

国内外食市場は、業界全体としては回復傾向にあるものの、人員不足に伴う採用コストや食材の仕入価格は上昇基調にあり、依然として厳しい経営環境にありました。

このような中で、外食事業は、企業理念である「JOY OF LIVING～生きている喜び～」のもと、安全・安心な商品の提供を心がけ「お客様へ100%満足の提供」を目指す店舗づくりを進めました。

国内では、「エビスバー」を2月に中四国エリア初となる広島に、同じく3月に新横浜に出店するとともに、「銀座ライオンビヤガーデン」を5月に大宮に新規出店いたしました。また、基幹店舗である「ビヤホール ライオン銀座七丁目店」のリフレッシュ改装を実施しました。一方で、不採算店等4店舗を閉鎖したことにより、当期末の国内店舗数は199店舗となりました。

シンガポールにおいても、地域に愛される店舗づくりを進めています。市内中心部にある「とん吉」業態3店舗の改装を実施するとともに、4月にはケーキの販売店「RIVE GAUCHE (リヴ・ゴージュ)」をシティリンク内に、同じく「北海道」をテーマとしたテイクアウトショップ「SAPPORO LION」をリゾート・ワールド・セントーサ内に新規出店したことにより、当期末のシンガポール店舗数は15店舗となりました。

以上の結果、外食事業の売上高は138億円（前年同期比11億円、9%増）、営業損失は2億円（前年同期は0億円の損失）となりました。

**〔不動産事業〕**

不動産業界は、首都圏オフィス賃貸市場において、オフィス需要が堅調なことから引き続き空室率は低い水準で推移しており、賃料水準も緩やかな上昇傾向が継続しています。

このような中で、不動産事業では、収益の柱となっている「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ、首都圏を中心に保有する各物件で高稼働率を維持しています。また、既存テナントの賃料水準引き上げについても積極的に取り組みを進めています。

複合商業施設「恵比寿ガーデンプレイス」では、施設の新たな付加価値創出やブランド価値向上を目指して、渋谷区民も利用可能な「コンソーシアム型」（複数企業向け）の事業所内保育所を4月に開所するとともに、8月のリニューアルオープンに向けて、展望レストラン街39階の改修工事を推進しています。

平成28年9月に開業した複合商業施設「GINZA PLACE（銀座プレイス）」は、通年稼働による収益貢献を見込んでいます。施設コンセプトである「発信と交流の拠点」として更に情報発信力を高め、ブランド価値向上に取り組んでいくとともに、街の賑わい創出や集客向上に貢献していきます。また、札幌市が都心まちづくりの重点地区と位置付けて進めている「創成川以東地区」の再整備計画に合わせ、複合商業施設「サッポロファクトリー」の改装を着実に推進しています。隣地駐車場跡地の再開発については、地上3階建て、延べ面積約6,900㎡の新たな商業施設が5月に竣工し、住宅関連企業のショールームが7月に開業しました。今後も生活者の利便性向上を図り、魅力ある都市空間づくりに努めていきます。

以上の結果、不動産事業の売上高は118億円（前年同期比9億円、9%増）、営業利益は58億円（前年同期比6億円、12%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産は、商品及び製品、投資有価証券の増加があった一方、受取手形及び売掛金、長期貸付金の減少等によって、前連結会計年度末と比較して203億円減少し、6,060億円となりました。

負債は、短期借入金の増加等があった一方、コマーシャル・ペーパー、未払酒税、長期借入金の減少等によって、前連結会計年度末と比較して195億円減少し、4,404億円となりました。

純資産は、期末配当の実施、為替換算調整勘定の減少等によって、前連結会計年度末と比較して7億円減少し、1,655億円となりました。

連結キャッシュ・フローの状態

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、164億円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少額178億円、減価償却費115億円等による増加要因と、未払酒税の減少額112億円、たな卸資産の増加額42億円等の減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、60億円の支出となりました。これは主に、長期貸付金の回収による収入40億円等による増加要因と、有形固定資産の取得による支出75億円、無形固定資産の取得による支出11億円等の減少要因があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、105億円の支出となりました。これは主に、社債の発行による収入99億円、長期借入れによる収入65億円等による増加要因と、長期借入金の返済による支出109億円、社債の償還による支出100億円、コマーシャル・ペーパーの純減額35億円等の減少要因があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は103億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年2月13日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,589	10,521
受取手形及び売掛金	96,850	78,909
商品及び製品	24,657	29,632
原材料及び貯蔵品	13,315	12,385
その他	18,852	19,135
貸倒引当金	△82	△58
流動資産合計	164,183	150,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	393,022	395,580
減価償却累計額	△220,233	△223,085
建物及び構築物 (純額)	172,788	172,495
機械装置及び運搬具	231,559	232,181
減価償却累計額	△187,660	△189,499
機械装置及び運搬具 (純額)	43,898	42,681
土地	111,636	111,406
建設仮勘定	3,694	2,821
その他	34,702	33,747
減価償却累計額	△21,224	△20,846
その他 (純額)	13,477	12,901
有形固定資産合計	345,495	342,306
無形固定資産		
のれん	27,439	25,343
その他	10,511	9,926
無形固定資産合計	37,950	35,269
投資その他の資産		
投資有価証券	59,296	63,719
長期貸付金	4,789	467
その他	15,831	14,947
貸倒引当金	△1,195	△1,201
投資その他の資産合計	78,721	77,933
固定資産合計	462,168	455,509
資産合計	626,351	606,035



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,503	36,280
短期借入金	30,337	39,271
コマーシャル・ペーパー	33,000	29,500
1年内償還予定の社債	10,083	10,066
未払酒税	34,228	23,024
未払法人税等	1,680	2,339
賞与引当金	2,980	2,009
預り金	8,214	8,407
その他	53,095	56,672
流動負債合計	212,123	207,571
固定負債		
社債	50,128	50,128
長期借入金	114,593	102,730
退職給付に係る負債	8,995	8,354
受入保証金	33,241	30,930
その他	40,887	40,733
固定負債合計	247,847	232,877
負債合計	459,971	440,449
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	53,886	53,886
資本剰余金	46,089	46,089
利益剰余金	41,932	39,267
自己株式	△1,795	△1,800
株主資本合計	140,112	137,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,517	25,413
繰延ヘッジ損益	41	△15
為替換算調整勘定	△1,943	△2,309
退職給付に係る調整累計額	△41	△215
その他の包括利益累計額合計	20,574	22,873
非支配株主持分	5,693	5,269
純資産合計	166,380	165,585
負債純資産合計	626,351	606,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	248,959	259,795
売上原価	163,238	169,312
売上総利益	85,721	90,482
販売費及び一般管理費		
販売奨励金及び手数料	17,646	19,013
広告宣伝費	10,682	11,221
給料及び手当	15,781	16,474
賞与引当金繰入額	1,040	1,220
退職給付費用	402	358
その他	37,120	39,175
販売費及び一般管理費合計	82,672	87,464
営業利益	3,048	3,018
営業外収益		
受取利息	122	95
受取配当金	716	755
持分法による投資利益	8	10
デリバティブ評価益	42	-
その他	398	377
営業外収益合計	1,287	1,239
営業外費用		
支払利息	1,059	977
為替差損	412	153
デリバティブ評価損	-	174
その他	244	298
営業外費用合計	1,715	1,603
経常利益	2,620	2,654
特別利益		
固定資産売却益	22	153
投資有価証券売却益	5	36
特別利益合計	27	189
特別損失		
固定資産除却損	564	398
固定資産売却損	5	4
減損損失	108	210
投資有価証券評価損	22	9
支払補償費	224	291
特別損失合計	925	915
税金等調整前四半期純利益	1,722	1,928
法人税等	1,266	1,881
四半期純利益	456	46
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△175
親会社株主に帰属する四半期純利益	465	222

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日)
四半期純利益	456	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,634	2,893
繰延ヘッジ損益	△4	△108
為替換算調整勘定	△4,423	△541
退職給付に係る調整額	△121	△173
その他の包括利益合計	△10,184	2,069
四半期包括利益	△9,728	2,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,971	2,521
非支配株主に係る四半期包括利益	△757	△404

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,722	1,928
減価償却費	10,945	11,543
減損損失	108	210
のれん償却額	1,943	1,928
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△902	△801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△17
受取利息及び受取配当金	△838	△851
支払利息	1,060	977
固定資産売却損益 (△は益)	△22	△153
固定資産除売却損益 (△は益)	569	403
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	△36
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	9
売上債権の増減額 (△は増加)	16,141	17,848
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,057	△4,201
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,645	△2,181
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,121	△1,720
未払酒税の増減額 (△は減少)	△12,163	△11,200
受入保証金の増減額 (△は減少)	304	△2,311
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	8,564	8,427
その他	1,071	△543
小計	22,958	19,258
利息及び配当金の受取額	938	956
利息の支払額	△1,069	△1,026
法人税等の支払額	△8,023	△3,377
法人税等の還付額	18	675
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,823	16,486
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,766	△7,578
有形固定資産の売却による収入	294	302
無形固定資産の取得による支出	△1,279	△1,193
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却及び償還による収入	6	86
関係会社株式の取得による支出	△154	△298
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△660	-
長期貸付けによる支出	△40	△41
長期貸付金の回収による収入	36	4,065
事業譲受による支出	△1,558	-
その他	△1,929	△1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,058	△6,015

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,882	1,906
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△2,000	△3,500
長期借入れによる収入	13,266	6,500
長期借入金の返済による支出	△19,617	△10,904
社債の発行による収入	9,960	9,960
社債の償還による支出	-	△10,016
配当金の支払額	△2,725	△2,887
非支配株主への配当金の支払額	△10	△19
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,446	△1,538
自己株式の取得による支出	△451	△4
自己株式の売却による収入	447	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305	△10,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	△123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,942	△156
現金及び現金同等物の期首残高	10,399	10,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,342	10,318

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額 (注2)
	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	125,755	31,608	64,991	12,650	10,905	245,911	3,048	248,959	-	248,959
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,271	52	129	0	1,248	2,702	9,425	12,127	△12,127	-
計	127,027	31,660	65,120	12,650	12,153	248,613	12,474	261,087	△12,127	248,959
セグメント利益又は損失(△)	1,474	△390	△802	△51	5,184	5,415	△72	5,342	△2,293	3,048

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

セグメント利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	5,415
「その他」の区分の利益	△72
全社費用(注)	△2,275
セグメント間取引消去	△18
四半期連結財務諸表の営業利益	3,048

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

「国内酒類事業」において、製造体制の見直しに伴う収益性低下等により投資額の回収が困難と見込まれるため、機械装置の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において55百万円であります。

「食品・飲料事業」において、営業用飲食店舗の収益性低下等により投資額の回収が困難と見込まれるため、建物等の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において52百万円であります。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額 (注2)
	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	127,541	33,707	65,497	13,814	11,839	252,400	7,395	259,795	-	259,795
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,569	35	129	0	1,276	3,010	9,748	12,758	△12,758	-
計	129,110	33,742	65,626	13,814	13,115	255,410	17,143	272,554	△12,758	259,795
セグメント利益又は損失(△)	1,458	107	△1,186	△214	5,800	5,964	△87	5,876	△2,858	3,018

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

セグメント利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	5,964
「その他」の区分の利益	△87
全社費用(注)	△3,085
セグメント間取引消去	227
四半期連結財務諸表の営業利益	3,018

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品・飲料事業」において、営業用機器の収益性低下等により投資額の回収が困難と見込まれるため、リース資産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において138百万円であります。

「その他」において、食品製造設備の収益性低下等により投資額の回収が困難と見込まれるため、機械装置等の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において72百万円であります。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



## (重要な後発事象に関する注記)

## [取得による企業結合]

当社は、新たに米国に設立する子会社を通じて、Anchor Brewing Company, LLC (以下アンカー社) の発行済持分100%を取得することを決定しました。

## 1. 被取得企業の名称及び事業の内容

- ・ 会社の名称 : Anchor Brewing Company, LLC (他1社)
- ・ 所在地 : 米国カリフォルニア州サンフランシスコ
- ・ 売上高 : 約33百万米ドル (約37億円) (2016年12月期)
- ・ 事業内容 : ビール製造・販売

## 2. 持分取得の目的

当社は平成28年11月に、グループ創業150周年にあたる2026年をゴールとした長期経営ビジョン「SPEED150」において、2016グループビジョンとして「世界に広がる『酒』『食』『飲』で個性かがやくブランドカンパニーを目指します」を定めました。

その中で、グループ成長戦略のキードライバーである「グローバル展開の推進」においては、ビジネスの基盤である「北米」と、成長著しい「東南アジア」を重点エリアに位置付けた独自のグローバル展開を推進しています。

今回の契約締結により、当社グループが持つ米国ビール事業の基盤にアンカー社の強いブランド力が加わることで、さらなる相乗効果を見込み、成長スピードを加速させます。

## 3. 持分取得の相手先

Anchor Brewers & Distillers, LLC

## 4. 持分取得の時期

平成29年8月31日 (予定)

## 5. 取得価額

85百万ドル

なお、契約に基づく買収価額の調整を精査中であり、取得原価は暫定の金額です。

## 6. 取得する持分比率

100%

## 7. 資金調達方法

自己資金及び外部借入等



# 平成29年（2017年）12月期 第2四半期決算短信補足説明資料

## 【第2四半期決算】

1. 財務ハイライト
  2. 主な売上数量・金額
  3. 平成29年度第2四半期（連結）損益計算書  
（連結）キャッシュフロー計算書（要約）  
国内酒類売上明細
  4. 平成29年度第2四半期（連結）損益計算書 主な増減要因
  5. 平成29年度第2四半期（連結）セグメント情報
  6. 平成29年度第2四半期（連結）貸借対照表
  7. 平成29年度セグメント変更概念図
- 【業績見通し】 ※2月13日発表数値と変更なし
8. 平成29年度通期（連結）業績見通し  
（連結）キャッシュフロー計算書（要約）  
国内酒類売上明細
  9. 平成29年度通期（連結）損益計算書 主な増減要因
  10. 平成29年度通期（連結）セグメント情報

2017年8月

**サッポロホールディングス株式会社**

コード番号 2501

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

財務ハイライト（平成25年～平成29年）

第2四半期連結決算

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高（億円）	酒税込み	2,312	2,398	2,458	2,489	2,597
	酒税抜き	1,796	1,875	1,946	1,957	2,054
売上高海外比率（％）	酒税抜き	19.2%	19.8%	24.3%	21.9%	21.8%
営業利益（億円）	のれん償却前	24	28	7	49	49
	のれん償却後	4	10	▲12	30	30
営業利益率（％）	対酒税込み・のれん償却後	0.2%	0.4%	-	1.2%	1.2%
	対酒税抜き・のれん償却前	1.4%	1.5%	0.4%	2.6%	2.4%
	対酒税抜き・のれん償却後	0.3%	0.5%	-	1.6%	1.5%
経常利益（億円）		3	2	▲14	26	26
親会社株主に帰属する当期純利益（億円）		1	▲109	11	4	2
総資産（億円）		6,011	6,032	6,211	5,948	6,060
純資産（億円）		1,400	1,423	1,619	1,513	1,655
金融負債残高（億円） （※1）	Gross	2,599	2,611	2,433	2,387	2,316
	Net	2,498	2,502	2,328	2,263	2,211
D/Eレシオ（倍）	Gross	1.9	1.8	1.5	1.6	1.4
	Net	1.8	1.8	1.4	1.5	1.3
設備投資（億円）	支払ベース	66	97	135	100	87
減価償却費（億円）		125	120	118	109	115
のれん償却費（億円）		20	18	20	19	19
EBITDA（億円）		150	149	125	159	164
為替換算レート（円） （※2）	US\$	95.73	102.46	120.31	111.74	112.34
	CAN\$	94.17	93.40	97.33	83.90	84.24

連結決算（通期）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 （見通し）
売上高（億円）	酒税込み	5,098	5,187	5,337	5,418	5,638
	酒税抜き	3,953	4,018	4,183	4,240	4,430
売上高海外比率（％）	酒税抜き	18.3%	19.2%	22.6%	20.5%	21.2%
営業利益（億円）	のれん償却前	193	184	181	241	251
	のれん償却後	153	147	139	202	213
営業利益率（％）	対酒税込み・のれん償却後	3.0%	2.8%	2.6%	3.7%	3.8%
	対酒税抜き・のれん償却前	4.9%	4.6%	4.3%	5.7%	5.7%
	対酒税抜き・のれん償却後	3.9%	3.7%	3.3%	4.8%	4.8%
経常利益（億円）		151	145	132	192	203
親会社株主に帰属する当期純利益（億円）		94	3	61	94	107
総資産（億円）		6,167	6,254	6,203	6,263	
純資産（億円）		1,553	1,600	1,638	1,663	
金融負債残高（億円） （※1）	Gross	2,478	2,475	2,347	2,381	2,364
	Net	2,362	2,377	2,243	2,275	2,259
D/Eレシオ（倍）	Gross	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4
	Net	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3
設備投資（億円）	支払ベース	137	191	203	218	255
減価償却費（億円）		250	244	242	223	232
のれん償却費（億円）		39	37	41	39	38
EBITDA（億円）		443	429	423	465	483
ROE（％）	のれん償却前	9.5%	2.7%	6.5%	8.4%	8.8%
	のれん償却後	6.7%	0.2%	3.9%	5.9%	6.5%
EPS（円 銭） （※3）	のれん償却前	34.40	10.53	131.71	171.89	186.14
	のれん償却後	24.20	0.87	78.40	121.56	137.36
為替換算レート（円） （※2）	US\$	97.73	105.79	121.11	108.81	110.00
	CAN\$	94.81	95.74	94.82	82.07	84.00

※1：金融負債残高にはコマーシャルペーパーを含み、リース債務の残高は含んでおりません。

※2：為替レートは期中平均レートです。

※3：平成28年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。  
平成27年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、EPS（円 銭）を算定しております。

## 主な売上数量・金額

### 国内酒類

(単位：万箱/大瓶換算)

	平成28年度 第2四半期	平成29年度 第2四半期	前年比	平成28年度	平成29年度 年間見通し	前年比
サッポロ生ビール黒ラベル計	764	785	103%	1,663	1,680	101%
エビス計	401	418	104%	972	1,070	110%
①ビール計	1,323	1,391	105%	3,048	3,140	103%
②発泡酒計	203	164	81%	411	360	88%
③新ジャンル計	730	686	94%	1,495	1,560	104%
ビール・発泡酒・新ジャンル合計(①+②+③)	2,256	2,241	99%	4,955	5,060	102%
ビールテイストノンアルコール飲料	37	34	91%	83	86	104%

(単位：億円)

	平成28年度 第2四半期	平成29年度 第2四半期	前年比	平成28年度	平成29年度 年間見通し	前年比
国産ワイン	24	24	101%	50	50	101%
輸入ワイン	36	37	103%	85	92	109%
ワイン計	60	61	103%	135	143	106%
スピリッツ計(RTD・洋酒・焼酎)	131	145	111%	278	294	106%

### 海外ビール

(単位：万箱/大瓶換算)

	平成28年度 第2四半期	平成29年度 第2四半期	前年比	平成28年度	平成29年度 年間見通し	前年比
スリーマン社(※1)	606	615	101%	1,291	1,300	101%
サッポロブランド	272	292	108%	580	630	109%

※1：サッポロブランドを除く。

### 飲料水(ポッカサッポロフード&ビバレッジ)

(単位：万箱)

	平成28年度 第2四半期	平成29年度 第2四半期	前年比	平成28年度	平成29年度 年間見通し	前年比
飲料水(※2)	2,138	2,129	100%	4,688	4,700	100%

※2：国内売上のみ。(豆乳除く)

平成29年度第2四半期決算（連結）

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
国内酒類事業	1,257	1,275	17	1.4%
国際事業	316	337	20	6.6%
食品・飲料事業	649	654	5	0.8%
外食事業	126	138	11	9.2%
不動産事業	109	118	9	8.6%
その他	30	73	43	142.6%
売上高	2,489	2,597	108	4.4%
国内酒類事業	14	14	▲0	▲1.0%
国際事業	▲3	1	4	—
食品・飲料事業	▲8	▲11	▲3	—
外食事業	▲0	▲2	▲1	—
不動産事業	51	58	6	11.9%
その他	▲0	▲0	▲0	—
全社	▲22	▲28	▲5	—
営業利益	30	30	▲0	▲1.0%
のれん償却前営業利益（※1）	49	49	▲0	▲0.9%
営業外収益	12	12	▲0	▲3.7%
営業外費用	17	16	▲1	▲6.5%
経常利益	26	26	0	1.3%
特別利益	0	1	1	585.0%
特別損失	9	9	▲0	▲1.1%
税引前利益	17	19	2	11.9%
法人税等	12	18	6	48.6%
非支配株主損益	▲0	▲1	▲1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4	2	▲2	▲52.3%

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-5.「セグメント情報」をご覧ください。

連結キャッシュフロー計算書（要約）

	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	148	164	16	11.2%
投資活動によるキャッシュフロー	▲140	▲60	80	—
フリーキャッシュフロー	7	104	97	1,269.8%
財務活動によるキャッシュフロー	13	▲105	▲118	—

国内酒類売上明細

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
ビール	721	762	41	5.8%
発泡酒	77	62	▲14	▲19.0%
新ジャンル	241	226	▲14	▲6.1%
合計	1,039	1,052	12	1.2%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
ビール	352	377	24	6.9%
発泡酒	43	34	▲8	▲19.0%
新ジャンル	167	157	▲10	▲6.1%
合計	563	569	6	1.1%

平成29年度第2四半期決算（連結）

主な利益増減要因

▲は利益減少要因

（単位：億円）

増減要因		平成28年度	平成29年度	利益増減	内容
ビール等		▲3	▲4	▲2	
限界利益	(小計)			13	
	ビール・発泡酒・新ジャンル 数量差異・品種構成他			2	ビール販売数量増 +11 発泡酒販売数量減 ▲5 新ジャンル販売数量減 ▲6 品種構成他 +2
	その他			11	ノンアル、RTD、製造原価他
固定費その他	(小計)			▲16	
	販促費			▲14	販売奨励金他
	設備費			1	修繕費他
	その他			▲3	人件費、一般経費
ワイン・スピリッツ		14	16	3	
その他		3	3	▲0	
<b>国内酒類事業</b>		<b>14</b>	<b>14</b>	<b>▲0</b>	
北米他		7	8	2	
	数量差異・品種構成他			6	販売数量増
	マーケティング費用			▲2	主にスリーマン社
	その他			▲2	人件費、一般経費
ベトナム		▲10	▲7	3	
	数量差異・品種構成他			▲1	
	マーケティング投資			4	
	その他			0	
<b>国際事業</b>		<b>▲3</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	
国内食品飲料		▲13	▲12	1	
	数量差異・品種構成他			11	売上高増・品種構成等
	製造コスト			1	
	マーケティング費用			▲6	広告宣伝費等
	その他固定費			▲5	物流費、人件費・一般管理費等
	その他			▲0	自販機オペレーター会社他
海外・外食他		5	1	▲4	海外事業、外食事業他
<b>食品・飲料事業</b>		<b>▲8</b>	<b>▲11</b>	<b>▲3</b>	
	既存店			▲1	
	新設店・改装店他			▲1	
<b>外食事業</b>		<b>▲0</b>	<b>▲2</b>	<b>▲1</b>	
	賃貸			6	
	販売他			▲0	
<b>不動産事業</b>		<b>51</b>	<b>58</b>	<b>6</b>	
	物流事業			0	
	その他			▲0	
<b>その他</b>		<b>▲0</b>	<b>▲0</b>	<b>▲0</b>	
<b>全社</b>		<b>▲22</b>	<b>▲28</b>	<b>▲5</b>	
<b>営業利益</b>		<b>30</b>	<b>30</b>	<b>▲0</b>	
<b>のれん償却前営業利益（※1）</b>		<b>49</b>	<b>49</b>	<b>▲0</b>	
	金融収支	▲2	▲1	1	
	持分法投資損益	0	0	0	
	その他	▲2	▲2	▲0	
<b>営業外収支</b>		<b>▲4</b>	<b>▲4</b>	<b>1</b>	
<b>経常利益</b>		<b>26</b>	<b>26</b>	<b>0</b>	
	固定資産売却益	0	2	1	
	その他特別利益	0	0	0	
	固定資産売却除却損	▲6	▲4	2	
	減損損失	▲1	▲2	▲1	
	その他特別損失	▲2	▲3	▲1	
<b>特別損益</b>		<b>▲9</b>	<b>▲7</b>	<b>2</b>	
<b>税引前利益</b>		<b>17</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	
<b>法人税等・非支配株主損益</b>		<b>▲12</b>	<b>▲17</b>	<b>▲4</b>	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>4</b>	<b>2</b>	<b>▲2</b>	

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-5、「セグメント情報」をご覧ください。

※実績

	平成28年度	平成29年度
US\$	111.74	112.34
CAN\$	83.90	84.24
EUR	124.58	121.66

平成29年度第2四半期決算（セグメント情報）

（単位：億円）

平成28年度 第2四半期	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	1,257	316	649	126	109	30	—	2,489
営業利益	14	▲3	▲8	▲0	51	▲0	▲22	30
（のれん償却前営業利益）	15	4	2	▲0	51	▲0	▲22	49
販促費								
販売奨励金及び手数料	106	1	69	0	0	0	▲0	176
広告宣伝費	76	5	17	4	2	0	▲0	106
広告物品費	22	19	0	0	0	0	▲0	41
減価償却費	35	15	27	2	20	0	8	109
のれん償却費	0	8	10	0	0	0	0	19
EBITDA（※1）	50	19	30	1	72	▲0	▲14	159
設備投資（支払ベース）	29	13	26	5	15	0	10	100
リース債務の支払額	0	0	13	0	0	0	0	14

平成29年度 第2四半期	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	1,275	337	654	138	118	73	—	2,597
営業利益	14	1	▲11	▲2	58	▲0	▲28	30
（のれん償却前営業利益）	14	9	▲1	▲1	58	▲0	▲28	49
販促費								
販売奨励金及び手数料	116	0	72	0	0	0	▲0	190
広告宣伝費	78	5	20	5	2	0	▲0	112
広告物品費	24	18	0	0	0	0	▲0	42
減価償却費	37	14	28	2	21	0	9	115
のれん償却費	0	8	10	0	0	0	0	19
EBITDA（※1）	52	24	27	1	79	▲0	▲18	164
設備投資（支払ベース）	20	16	11	4	20	0	12	87
リース債務の支払額	0	0	14	0	0	0	0	15

0

増減額	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	17	20	5	11	9	43	—	108
営業利益	▲0	4	▲3	▲1	6	▲0	▲5	▲0
（のれん償却前営業利益）	▲0	4	▲4	▲1	6	▲0	▲5	▲0
販促費								
販売奨励金及び手数料	10	▲0	3	0	0	0	▲0	13
広告宣伝費	2	▲0	2	0	▲0	0	▲0	5
広告物品費	2	▲1	0	0	0	0	▲0	1
減価償却費	1	▲0	0	0	1	0	1	5
のれん償却費	0	▲0	▲0	0	0	0	0	▲0
EBITDA（※1）	1	4	▲3	▲0	7	0	▲4	5
設備投資（支払ベース）	▲8	3	▲15	▲0	5	0	1	▲12
リース債務の支払額	0	▲0	0	0	0	0	▲0	0

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費 にて算出しております。

平成29年度第2四半期決算（連結）

連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	平成28年度末	平成29年度 第2四半期末	増減	主な理由
流動資産	1,641	1,505	▲ 136	
現預金	105	105	0	
売上債権	968	789	▲ 179	季節要因・銀行休業日の影響等
棚卸資産	379	420	▲ 40	
その他	187	190	▲ 3	
固定資産	4,621	4,555	▲ 66	
固定資産	3,560	3,522	▲ 37	
のれん	274	253	▲ 20	
投資等	787	779	▲ 7	
資産合計	6,263	6,060	▲ 203	
流動負債	2,121	2,075	▲ 45	
仕入債務	385	362	▲ 22	
短期金融負債	734	788	▲ 54	
預り金	82	84	▲ 1	
その他	919	840	▲ 79	未払酒税の減少
固定負債	2,478	2,323	▲ 149	
長期金融負債	1,647	1,528	▲ 118	社債の1年内償還予定社債への振替
退職給付に係る負債	89	83	▲ 6	
その他	741	716	▲ 24	
負債合計	4,599	4,404	▲ 195	
株主資本	1,401	1,374	▲ 26	配当金支払
その他の包括利益累計額	205	228	▲ 22	
非支配株主持分	56	52	▲ 4	
純資産合計	1,663	1,655	▲ 7	
負債純資産合計	6,263	6,060	▲ 203	

セグメント別金融負債残高

（単位：億円）

	平成28年度末	平成29年度 第2四半期末	増減	主な理由
国内酒類	333	308	▲ 24	
国際	318	335	▲ 16	
食品・飲料	66	36	▲ 29	
外食	4	3	▲ 1	
不動産	1,353	1,353	▲ 0	
その他	26	25	▲ 1	
全社又は消去	278	254	▲ 24	
連結合計	2,381	2,316	▲ 64	



## 平成29年度 セグメント変更概念図

平成29年度については、セグメントの変更はありません。

報告セグメントの利益は「営業利益」である為、下記の表からは持分法適用関連会社を除いております。

平成28年度 セグメント		平成29年度 セグメント	
区分	連結子会社	区分	連結子会社
国内酒類 事業	サッポロビール㈱ (※1)	国内酒類 事業	サッポロビール㈱ (※1)
	㈱恵比寿ワインマート		㈱恵比寿ワインマート
	㈱楽丸酒造		㈱楽丸酒造
	サッポロエンジニアリング㈱ (※1)		スターネット㈱
	スターネット㈱		㈱新星苑
	㈱新星苑		
国際事業	サッポロインターナショナル㈱	国際事業	サッポロインターナショナル㈱
	SAPPORO U.S.A., INC.		SAPPORO U.S.A., INC.
	SAPPORO CANADA INC.		SAPPORO CANADA INC.
	SLEEMAN BREWERIES LTD.		SLEEMAN BREWERIES LTD.
	Sapporo Asia Private Limited		Sapporo Asia Private Limited
	Sapporo Vietnam Limited		Sapporo Vietnam Limited
	Silver Springs Citrus, Inc.		Silver Springs Citrus, Inc.
	Country Pure Foods, Inc.		Country Pure Foods, Inc.
	他11社		他11社
	食品・飲料 事業		ポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱
㈱ポッカクリエイト		㈱ポッカクリエイト	
㈱PSビバレッジ		㈱PSビバレッジ	
スタービバレッジサービス㈱		スタービバレッジサービス㈱	
ポッカサッポロ北海道㈱		ポッカサッポロ北海道㈱	
日本ビーンズ㈱		日本ビーンズ㈱	
Pokka Corporation (Singapore) Pte. Ltd.		Pokka Corporation (Singapore) Pte. Ltd.	
Pokka International Pte. Ltd.		Pokka International Pte. Ltd.	
PT.Pokka Dima International		PT.Pokka Dima International	
他8社		他8社	
外食事業	㈱サッポロライオン	外食事業	㈱サッポロライオン
	㈱ニュー三幸		㈱ニュー三幸
	㈱マルシンカワムラ		㈱マルシンカワムラ
	㈱銀鱗水産		㈱銀鱗水産
	Sapporo Lion (Singapore) Pte. Ltd.		Sapporo Lion (Singapore) Pte. Ltd.
不動産事業	サッポロ不動産開発㈱	不動産事業	サッポロ不動産開発㈱
	YGPリアルエステート㈱		YGPリアルエステート㈱
	㈱東京エネルギーサービス		㈱東京エネルギーサービス
	㈱横浜恵和ビルディング		㈱横浜恵和ビルディング
その他	サッポログループマネジメント㈱	その他	サッポログループマネジメント㈱
	サッポログループ物流㈱		サッポログループ物流㈱
	サッポロ流通システム㈱		サッポロ流通システム㈱
	宮坂醸造㈱ (※2)		宮坂醸造㈱ (※2)
消去 又は全社	サッポロホールディングス㈱ サッポログループマネジメント㈱	消去 又は全社	サッポロホールディングス㈱ サッポログループマネジメント㈱

※1 平成29年4月1日付にて、「サッポロエンジニアリング㈱」は、「サッポロビール㈱」との間で吸収合併を行い、消滅いたしました。

※2 「宮坂醸造㈱」は、平成29年7月1日に商号を「神州一味噌㈱」に変更しております。

平成29年度業績見通し（連結）

※2月13日発表数値と変更ありません。

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度 見通し	増減	増減率
国内酒類事業	2,794	2,860	65	2.3%
国際事業	654	703	48	7.5%
食品・飲料事業	1,379	1,422	42	3.1%
外食事業	281	296	14	5.3%
不動産事業	229	238	8	3.9%
その他	80	119	38	48.2%
売上高	5,418	5,638	219	4.1%
国内酒類事業	117	118	0	0.5%
国際事業	9	14	4	54.4%
食品・飲料事業	13	18	4	37.0%
外食事業	6	10	3	50.6%
不動産事業	103	110	6	6.5%
その他	▲0	▲1	▲0	—
全社	▲45	▲56	▲10	—
営業利益	202	213	10	5.1%
のれん償却前営業利益（※1）	241	251	9	3.8%
営業外収益	23	20	▲3	▲13.7%
営業外費用	33	30	▲3	▲11.1%
経常利益	192	203	10	5.7%
特別利益	0	0	▲0	—
特別損失	28	25	▲3	▲12.7%
税引前利益	164	178	13	8.5%
法人税等	70	70	▲0	▲0.3%
非支配株主損益	▲0	1	1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	94	107	12	13.0%

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-10.「セグメント情報」をご覧ください。

連結キャッシュフロー計算書（要約）

	平成28年度	平成29年度 見通し	増減	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	325	397	71	21.9%
投資活動によるキャッシュフロー	▲275	▲351	▲75	—
フリーキャッシュフロー	49	46	▲3	▲7.7%

国内酒類売上明細

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度 見通し	増減	増減率
ビール	1,672	1,734	61	3.7%
発泡酒	157	137	▲19	▲12.5%
新ジャンル	493	515	21	4.4%
合計	2,324	2,388	63	2.8%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

	平成28年度	平成29年度 見通し	増減	増減率
ビール	823	860	36	4.4%
発泡酒	87	76	▲10	▲12.5%
新ジャンル	342	357	15	4.4%
合計	1,253	1,294	40	3.2%

平成29年度業績見通し（連結）

※2月13日発表数値と変更ありません。

主な利益増減要因 ▲は利益減少要因

（単位：億円）

	増減要因	平成28年度	平成29年度 見通し	利益増減	内容
ビール等		83	86	3	
限界利益	(小計)			26	
	ビール・発泡酒・新ジャンル 数量差異・品種構成他			25	ビール販売数量増 +17 発泡酒販売数量減 ▲6 新ジャンル販売数量増 +9 品種構成他 +5
	その他			1	ノンアル、RTD、製造原価他
固定費その他	(小計)			▲23	
	販促費			▲12	販売奨励金他
	設備費			▲2	減価償却費他
	その他			▲9	人件費、一般経費
ワイン・スピリッツ		24	25	1	
その他		11	6	▲4	
<b>国内酒類事業</b>		<b>117</b>	<b>118</b>	<b>0</b>	
北米他		25	27	2	
	数量差異・品種構成他			6	販売数量増・品種構成他（スリーマン101%）
	マーケティング費用			▲3	主にスリーマン社、USA社
	その他			▲1	
ベトナム		▲16	▲14	2	
	数量差異・品種構成他			5	
	マーケティング投資			1	
	その他			▲3	
<b>国際事業</b>		<b>9</b>	<b>14</b>	<b>4</b>	
国内食品飲料		▲0	3	3	
	数量差異・品種構成他			8	販売数量増・品種構成
	製造コスト			8	原材料コスト減・製造コスト減
	マーケティング費用			▲7	
	その他の固定費			▲8	物流費・人件費・一般経費等
	その他			2	自販機オペレーター会社他
海外・外食他		13	14	1	海外事業、外食事業
<b>食品・飲料事業</b>		<b>13</b>	<b>18</b>	<b>4</b>	
	既存店			0	
	新設店・改装店他			3	
<b>外食事業</b>		<b>6</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	
	賃貸			6	
	販売他			0	
<b>不動産事業</b>		<b>103</b>	<b>110</b>	<b>6</b>	
	物流事業			1	
	その他			▲1	
<b>その他</b>		<b>▲0</b>	<b>▲1</b>	<b>▲0</b>	
<b>全社</b>		<b>▲45</b>	<b>▲56</b>	<b>▲10</b>	
<b>営業利益</b>		<b>202</b>	<b>213</b>	<b>10</b>	
<b>のれん償却前営業利益</b> （※1）		<b>241</b>	<b>251</b>	<b>9</b>	
	金融収支	▲8	▲10	▲2	
	持分法投資損益	0	0	0	
	その他	▲3	0	3	
<b>営業外収支</b>		<b>▲11</b>	<b>▲10</b>	<b>1</b>	
<b>経常利益</b>		<b>192</b>	<b>203</b>	<b>10</b>	
	固定資産売却益	0	-	▲0	
	その他特別利益	0	-	▲0	
	固定資産売却除却損	▲14	▲10	4	
	減損損失	▲10	-	10	
	その他特別損失	▲4	▲15	▲11	
<b>特別損益</b>		<b>▲28</b>	<b>▲25</b>	<b>3</b>	
<b>税引前利益</b>		<b>164</b>	<b>178</b>	<b>13</b>	
<b>法人税等・非支配株主損益</b>		<b>▲70</b>	<b>▲71</b>	<b>▲1</b>	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>94</b>	<b>107</b>	<b>12</b>	

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-10「セグメント情報」をご覧ください。

	平成28年度	平成29年度見通し
US\$	108.81	110.00
CAN\$	82.07	84.00
EUR	120.30	121.00

平成29年度業績見通し（セグメント情報）

※2月13日発表数値と変更ありません。

（単位：億円）

平成28年度	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	2,794	654	1,379	281	229	80	—	5,418
営業利益	117	9	13	6	103	▲0	▲45	202
（のれん償却前営業利益）	118	25	34	6	103	▲0	▲45	241
販促費								
販売奨励金及び手数料	240	2	147	0	0	0	▲1	387
広告宣伝費	139	9	37	10	7	0	▲0	204
広告物品費	42	33	0	0	0	0	▲1	74
減価償却費	72	30	57	5	41	0	16	223
のれん償却費	0	16	21	0	0	0	0	39
EBITDA（※1）	190	56	91	12	144	▲0	▲29	465
設備投資（支払ベース）	35	24	39	11	89	0	17	218
リース債務の支払額	0	0	28	0	0	0	0	29

平成29年度 見通し	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	2,860	703	1,422	296	238	119	—	5,638
営業利益	118	14	18	10	110	▲1	▲56	213
（のれん償却前営業利益）	118	30	39	10	110	▲1	▲56	251
減価償却費	74	32	61	7	42	1	15	232
のれん償却費	0	16	21	0	0	0	0	38
EBITDA（※1）	192	62	100	17	152	0	▲41	483
設備投資（支払ベース）	72	49	35	13	71	0	15	255
リース債務の支払額	2	0	34	0	0	0	0	36

増減見込額	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	65	48	42	14	8	38	0	219
営業利益	0	4	4	3	6	▲0	▲10	10
（のれん償却前営業利益）	0	4	4	3	6	▲0	▲10	9
減価償却費	1	1	3	1	0	0	▲1	8
のれん償却費	▲0	▲0	▲0	0	0	0	0	▲1
EBITDA（※1）	2	5	8	5	7	0	▲11	17
設備投資（支払ベース）	36	24	▲4	1	▲18	0	▲2	36
リース債務の支払額	2	0	5	0	0	0	0	6

※1：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費にて算出しております。

※2：販促費の通期見通しにつきましては開示していません。